

特集

ナラティブ・アプローチと看護教育

- 〈ナラティブ・アプローチ概論〉 中川 晶
〈慢性期看護の実践から〉 乾 彰弘／水野 光／貝津里乃
〈精神科看護の実践から〉 永井 翔／武用百子
〈地域・訪問看護の実践から〉 柴田三奈子

「語り」は、看護者との関わりの中で自然に立ち上がることもあれば、意図的な働きかけによって引き出されることもあります。そうして生まれた語りが看護者によって受け止められ、解釈され、患者や学生、地域、そして社会へと還元されていく時、ナラティブは看護教育において、より深い意味を持つものとなります。

本特集では、初めに、中川晶先生にナラティブ・アプローチの基本的な考え方をご解説いただいた上で、臨床・教育・研究の各領域で活動する執筆者が、それぞれの実践を通して、語りをどのように引き出し、受け止め、解釈し、看護の営みへと組み込んでいるのかを示します。ナラティブをただ「大切なもの」として扱うだけでなく、そこに込められた経験や意味、文脈を他者へと届け、看護や教育を動かす力へとつなげていくための視点を探ります。

焦点

全領域で取り組む3年次・4年次の合同看護演習 Communities of practice を用いた考察 内貴千沙登、卯川久美、他

巻頭インタビュー

今、気になるあの本の著者！

連載

- 看護学実習におけるグレーゾーン学生支援の再構成
困難の理解から教育実践への接続①……………徳島佐由美、樋口優子
Z世代の新人看護師を育てる・支える
入学時から卒業後まで、つながり続ける教育支援③……………相撲佐希子
看護教育における変わるもの 変えられないもの
AI・DXとともに揺れの時代を歩む④……………藤井光輝
多様化・複雑化する社会の中で学生自らの役割を見いだす
東京医薬看護専門学校の地域・在宅看護方法論④……………津津美里、石橋佳子、堀 延之
授業・演習・実習をつなぐ協働の力 大学と病院が共に創る看護基礎教育⑤
……………長田恵子、藤村朗子

※予定であり変更の可能性があります。

編集後記

青森県の「浅虫ねふた祭」に行ってきました。青い森鉄道「浅虫温泉駅」への道中、車窓から海にぽっかりと浮かぶ「湯ノ島」が目に入ります。火山活動によって出現したとされ、龍神伝説なども伝わる浅虫の象徴的な島です。湯ノ島弁財天の海中に立っていた大鳥居は現在再建プロジェクト中で、まもなく第二弾のクラウドファンディングが始まるそうです。／祭りは熱気があふれていました。跳人（ハネト）と呼ばれる踊り手たちが威勢よく跳ねる姿は圧巻で、美しく力強い跳躍の持ち主には「ミスター跳人」の称号が授与されるとのこと。ちなみに私は化人（バケト）の姿で参加！街を練り歩いていると、高齢者向け施設が多いことに気がきました。かつての旅館が地域のケアを支える場へ転用されていると地元の方に伺い、観光地が迎える時代の変遷を感じました。夏の夜に世代を超えて熱狂を共にするハレと、穏やかな日常のケ。双方が重なる街のあり方に触れ、深く心に残る滞在となりました。（大村）

人類と犬の出会いには、こんな説があります。2万年以上前、人間の食べ残しを目当てに野営地へ近づいた狼の集団がいました。その中で、近づきすぎず、かといって遠すぎない個体が、人間のそばで暮らすようになったというのです。人間にとっても、狼の鋭い嗅覚や聴覚は、暗闇から迫る獣の危険を察知する上で頼りになったかもしれません。そうした関係が長い年月をかけ、やがて犬へとつながったと考えられています。「ほど良い距離」と聞くと、人間関係も少し楽になる気がしますし、巷のコミュニケーション本は、だいたいその文脈で書かれています。ただ、そのほど良さも、相手や時・状況によって変わります。その距離を探りながら関係を築くことは案外難しいと感じます。人間に近づいた昔の狼の勇気と、危険な狼を受け入れ、頼りにした人間。双方の一步が今の犬との関係につながっていると思うと、普段は間の抜けた顔をしているわが家の犬も、少し味わい深く見えてきます。（坂元）

看護教育 第67巻5号（通巻780号）
2026年10月25日発行（年6回発行）
発行：株式会社医学書院
代表者：金原 俊
〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23
『看護教育』編集室 TEL：03-3817-5776
メールアドレス：kankyou@igaku-shoin.co.jp
広告問い合わせ TEL：03-3817-5696
（pr@igaku-shoin.co.jp）

担当：大村・坂元・番匠
Published by IGAKU-SHOIN Ltd.
1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo
©2026, Printed in Japan
印刷：株式会社双文社印刷
1部定価 2,860円（本体2,600円＋税10%）
2026年年間購読料（送料弊社負担、年6冊）
冊子版：17,160円（15,600円＋税10%）
電子版／個人：16,500円（15,000円＋税10%）
電子＋冊子版／個人：18,810円（17,100円＋税10%）

本誌に掲載された著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・貸与権・公衆送信権（送信可能化権を含む）は株式会社医学書院が保有します。本誌を無断で複製する行為（複写、スキャン、デジタルデータ化など）は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学、病院、診療所、企業などにおいて、業務上使用する目的（診療、研究活動を含む）で上記の行為を行うことは、その使用範囲が内部的であっても、私的使用には該当せず、違法です。また私的使用に該当する場合であっても、代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。

JCOPY

〈出版者著作権管理機構委託出版物〉
本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に出版者著作権管理機構（TEL：03-5244-5088、FAX：03-5244-5089、info@jcopy.or.jp）の承諾を得てください。
「看護教育」は株式会社医学書院の登録商標です。

BACK NUMBER

バックナンバーのご案内

2026年4号

特集 コンピテンシー基盤型カリキュラムに臨床薬理の視点を組み込む



薬物療法では、薬の効果や副作用だけでなく、不確実性や患者の生活への影響も含めた判断が求められます。本特集では、臨床薬理を看護実践の臨床判断へどう結び付けるかを軸に、専門科目との接続、講義・演習、シミュレーション、OSCE、IPEなどの実践を紹介。「薬理」を暗記で終わらせず、カリキュラム設計と授業実践をつなぐ視点を提示します。

2026年3号

特集1 生成AIは看護教育をどう変えるか 特集2 今こそ、看護教育の当たり前を問い直す



特集1では、生成AIが看護教育にもたらす変化について、リテラシー、倫理、批判的思考、ガバナンスの視点から考え、教育・研究を支える活用方法を探ります。特集2では、学生や社会の変化を背景に、看護教育の「当たり前」を問い直し、現場の違和感や葛藤から教育や組織の在り方を見つめ直します。

2026年2号

特集 実習指導のお悩み、解決します！ 現場の知恵、集めました。



学生の多様化や臨地実習の複雑化から、実習指導の悩みは広がっています。本特集では、学生との関わり戸惑い、実習指導の要点、発達障害支援、思考発話、生成AIの活用と留意点など、現場の切実な困りごとがテーマ。具体的な支援の視点をQ&A形式で提示することで、日々の指導を見直すヒントをお届けします。

2026年1号

特集 専門基礎分野を臨床判断に接続する



専門基礎分野の各科目は看護実践の土台ですが、膨大な知識への苦手意識から学びが試験対策にとどまり、実践との断絶が生じています。知識を自分ごととして捉え、身体性の仕組みや臨床とのつながりを実感することを目指し、専門基礎を看護の視点で捉え直し、臨床判断を支える学びの再構築の手がかりを提示します。

2025年6号

特集 課題をとらえ、新たな教育を自らつくるためにカリキュラム評価・開発のヒント



指定規則第5次改正から丸3年が経過。18歳人口の減少や求められる看護師像の変化を踏まえると、次回改正を待つのではなく、教員自身が地域・社会の医療課題を捉え、現行カリキュラムの見直しを進めることが求められています。本特集ではカリキュラム評価の意義や課題、実践例を紹介し、今後の評価・開発の方向性を考えます。

バックナンバーご購入 & 年間購読お申し込み方法

- ・最寄りの書店 & 生協にてご注文
- ・ホームページ <https://www.igaku-shoin.co.jp/journal-subscription>
- ・商品・定期購読送料先変更等 <https://www.igaku-shoin.co.jp/inquiry>

○ 2025年5号 (Vol. 66 No. 5) 以前の号についてのご注文や在庫の照会
は下記へお問い合わせください。
株式会社東亜ブック TEL : 03-5947-4781 FAX : 03-3923-4539
<http://www.toabook.com>

2026/10/04 05:49:12